

# 「火の用心だより」第65号(令和2年7月)

発行：札幌市消防局予防部予防課

## 令和2年上半期の火災発生状況(速報値)

令和2年1月1日から令和2年6月30日までの火災発生件数は211件で、前年同日と比べ、5件減少しています。これは、過去10年で最も少ない火災件数です。

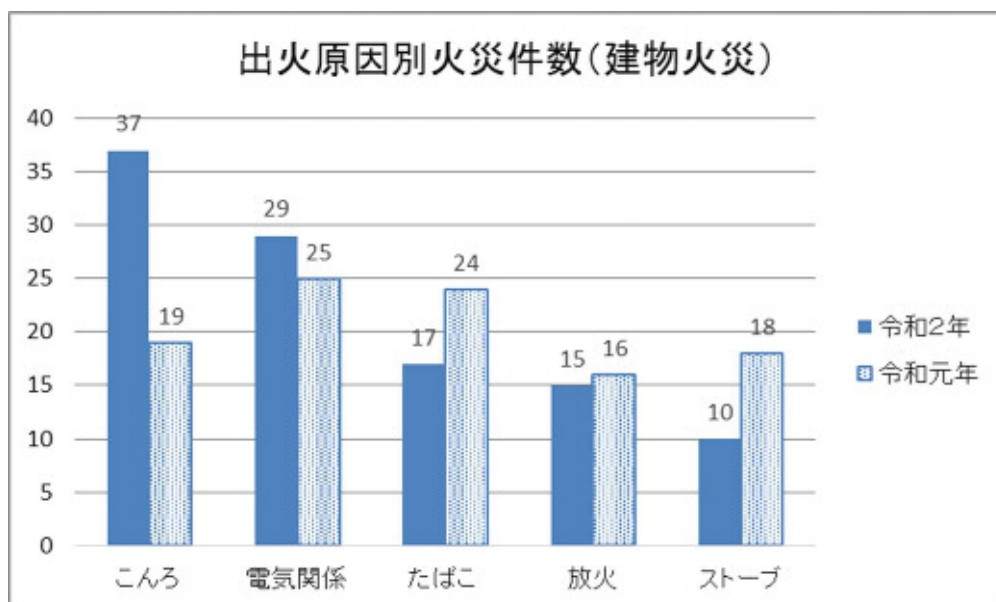
火災による死者は5人で、前年同日と比べて2人少なくなっています。

	火災種別											死者	負傷者	
	総数	爆発	建物				林野	車両	ご収集車	その他	野火			
			全焼	半焼	部分焼	ぼや								
令和2年	211	0	141	8	8	30	95	3	34	16	33	10	5	36
令和元年	216	1	145	15	7	43	80	0	33	13	38	14	7	33
前年比較 増▲減▲	▲5	▲1	▲4	▲7	1	▲13	15	3	1	3	▲5	▲4	▲2	3

### □建物火災の主な出火原因

建物火災の主な出火原因のうち、こんろによる火災が、前年より18件も増えています。これは、新型コロナウイルスの感染拡大による緊急事態宣言等により、外出することを控え、自宅での調理機会が増えたことがひとつの要因と考えられます。

こんろ火災の予防対策は、前月号でお知らせしていますので、再度ご確認をお願いします。



# 夏型の火災にご注意ください！

## □子どもの火遊びに注意しましょう

春から夏にかけて、子どもの火遊びが増えてくる時期です。平成26年～令和元年の統計では、公園や河川敷での発生が全体の約46%、次いで、敷地内が約21%、居室が約19%となっており、時間帯でみると14時～19時で全体の約50%、このうち一番多い時間帯が15時～17時の約27%となっています。

子どもは好奇心が強く、火に対しても例外ではありません。  
子どもが火に対して関心を示したら、叱るだけではなく、火の大切さや恐ろしさを教え、正しい知識を与えることが大切です。  
火事のない、楽しい夏休みにしましょう！

### 《火遊びによる火災を防ぐポイント》

- マッチやライターは子どもの手の届く所に置かない。
- 花火遊びは、水バケツを用意して、必ず大人が付き添う。
- 火遊びしているところを見かけたら注意する。



火遊びにより掲示板が燃えた事案

## □着衣着火に気を付けましょう

着ている衣類に火が触れて着火する「着衣着火」。  
こんろの火をつけたまま、こんろの向こう側に置いてある物を取ろうとしたときや、お盆にお供えしたローソクの炎が、衣類に触れてしまう事例が多くあります。

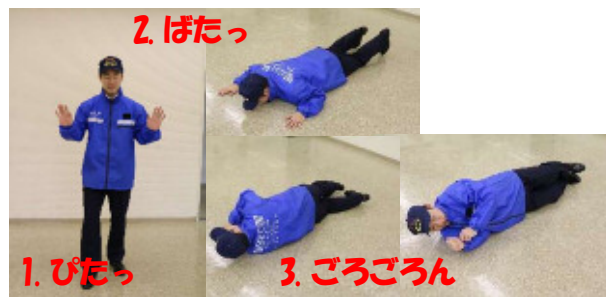
もし、衣類に火がついてしまったら、水をかぶって消火するか、近くに水が無いときは、その場で止まり、地面に倒れて、転げまわって燃えているところを地面に押し付けて消しましょう。

子どもたちには「びたっ、ばたっ、ごろごろん」と教えています。

大人の皆さんも覚えておいてください。



Tシャツに着火したもの



### 市民が主役の火災予防

- ① 火災予防行事・活動に参加しましょう
- ② 火災予防の知識・行動要領を身につけましょう
- ③ 消火器などの防災機器を備えましょう
- ④ 防災品を使用しましょう
- ⑤ 放火されない環境をつくりましょう
- ⑥ 火災から高齢の方などを守りましょう

発行：札幌市消防局予防部予防課

〒064-8586 札幌市中央区南4条西10丁目

☎011-215-2040

SAPPORO

